

香取市生涯スポーツ推進計画

(案)

平成25～29年度



平成25年4月

香取市教育委員会

目 次

【第1章】香取市生涯スポーツ推進計画の基本的事項

(1) 策定の趣旨	1
(2) 計画の位置づけ	2
(3) 計画の期間	3

【第2章】計画推進のための具体的事項

基本方針1 豊かなスポーツライフの実現

(1) 子どもの体力向上	3
(2) 生涯スポーツの推進	5
(3) 高齢者・障害のある人のスポーツ推進	5
(4) スポーツボランティア・指導者の育成	8
(5) スポーツ団体の支援	8
(6) スポーツ施設の整備充実	9
(7) 水上スポーツ等の推進	10

基本方針2 総合型地域スポーツクラブの育成

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成	12
---------------------	----

基本方針3 競技スポーツの推進

(1) トップアスリートによる講演会等の開催	13
(2) スポーツ優秀選手への表彰・報奨制度・派遣費の充実	14

【第1章】香取市生涯スポーツ推進計画の基本的事項

(1) 策定の趣旨

スポーツは、全ての人々に大きな感動や楽しみ、活力をもたらすものであり、言語や生活習慣を超え、人類が共同して発展させてきた世界共通の文化の一つであるとともに、人格の形成、体力の向上、健康長寿の礎であり、明るく豊かで活力に満ちた社会形成にも貢献するものです。

本市においては、平成22年3月に、概ね10年間を見通して「香取市教育ビジョン～ひとをつなぎ、未来をひらく」を策定し、「市民主体のスポーツ活動の振興」を目指して、市民一人ひとりが自らスポーツを行うことにより心身ともに健康で活力ある生活を送れるよう、「豊かなスポーツライフの実現」「総合型地域スポーツクラブの育成」「競技スポーツの振興」の3つの柱を設け具体的な施策を展開してきました。

しかしその間も、スポーツを取り巻く環境は大きく変化し、子どもの体力低下や高齢化の進展、さらには、人と人とのつながりの希薄化などの問題が顕在化してきました。これらの問題解決の手がかりとして、市民のスポーツに対する期待はますます高まり、ニーズは多様化してきています。

一方、国においては、「新たなスポーツ文化」の確立を目指し、「スポーツ立国戦略」が策定されるとともに、「スポーツ振興法」が50年ぶりに全面改正され、スポーツの推進のための基本的な法律として「スポーツ基本法」が平成23年8月24日に施行されました。

さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災からの復旧・復興の中で、地域の絆を大切にしていこうとする重要性も議論され、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的な推進を図るため、平成24年3月に「スポーツ基本計画」が策定されました。

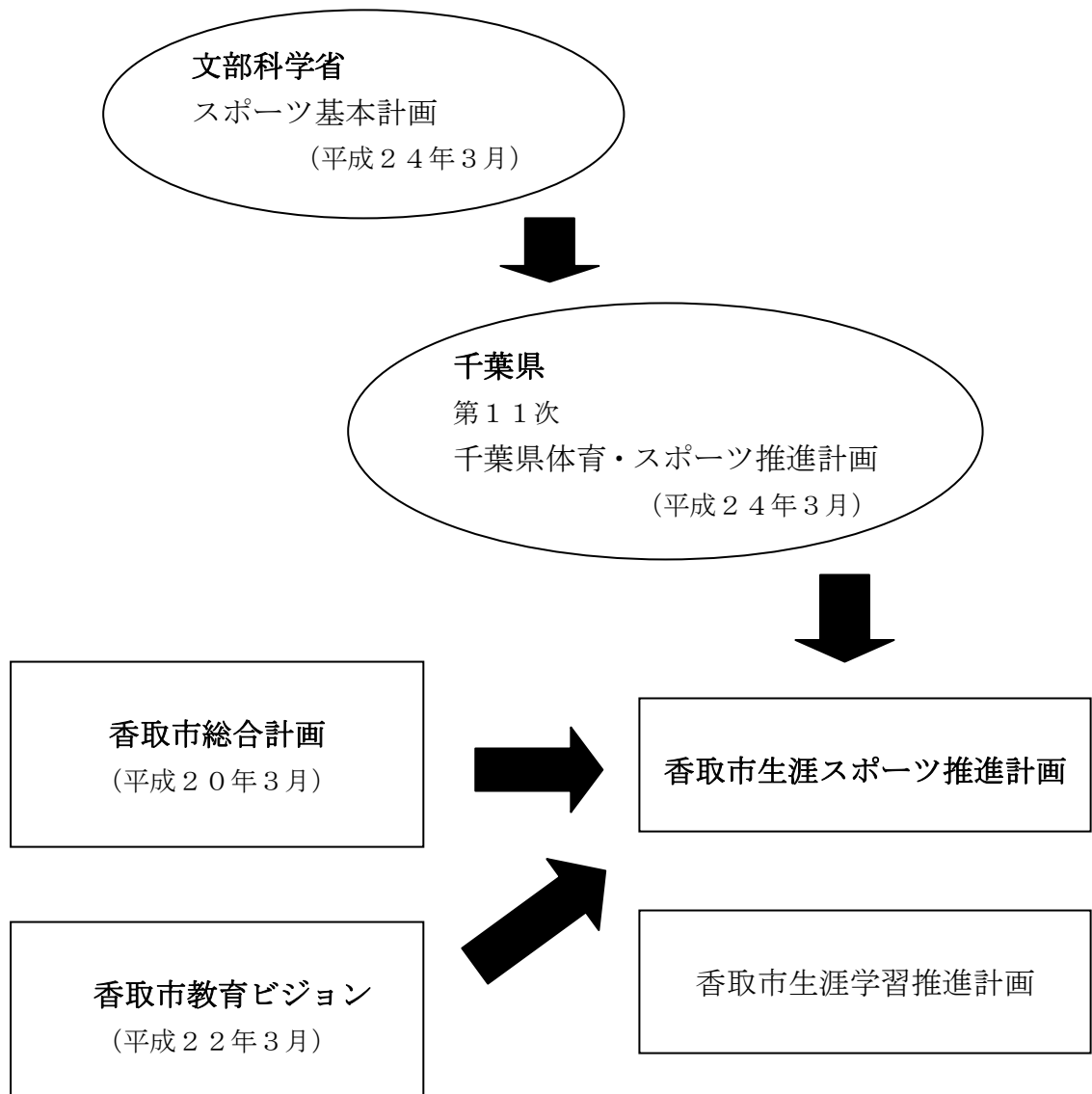
また、千葉県においても平成24年3月に、概ね5年間を見通して「第11次千葉県体育・スポーツ推進計画～スポーツ立県ちばの実現を目指して」が策定されました。

以上のことから、本市においても現計画を踏まえ、新たに策定された国・県の計画を参酌し「香取市生涯スポーツ推進計画」を策定するものです。

(2) 計画の位置づけ

この計画は、国のスポーツ基本法に基づく「スポーツ基本計画」に掲げられている「生涯スポーツ社会」の実現を踏まえ、また「香取市総合計画～元気と笑顔があふれるまち」に示している教育・文化の推進分野の施策をより具体化するものとして位置付けます。

また、平成22年3月に策定された「香取市教育ビジョン～ひとをつなぎ、未来をひらく」とともに、スポーツ振興のための基本的な方策、生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備を推進するための基本方針とします。



(3) 計画期間

計画の期間は、香取市総合計画（平成20年3月策定）との整合を図るため、平成25年度～29年度までの5年間とします。今後の社会情勢の変化などで計画の見直しが必要な事項等が生じた場合は、必要に応じて見直すこととします。

【第2章】 計画推進のための具体的事項

基本方針1 豊かなスポーツライフの実現

スポーツを通して市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、スポーツ団体等への支援やスポーツボランティア・指導者の育成及び高齢者・障害のある人のスポーツ推進を図るとともに、スポーツの推進を図るため、総合的なスポーツ施設「総合運動公園」についての検討を進めます。

また、子どもの体力向上については、体力テスト全項目のレベルアップを目標に指導体制の充実を図ります。

(1) 子どもの体力向上

子どものスポーツ機会の充実を目指し、学校や地域等において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる環境の整備を図ります。

また、健康教育、学校体育の充実を図るとともに、望ましい生活習慣づくりと食に関する指導の充実を図ります。

① 現状と課題

近年、運動する子どもとしない子どもの二極化、またそのことによる体力の二分化傾向がみられ、児童生徒の体力・運動能力の低下が課題となっております。

② 取組の方向性

児童生徒の発達段階に応じ、一人ひとりが能力や適性を伸ばすことに重点を置き、生涯にわたってスポーツに親しむことができる心身の基礎づくり、体力や運動の能力の向上を図ります。

③ 具体的な取組

本市における「児童生徒の体力・運動能力調査」の結果を注視し、子どもらしい生活習慣を身につけさせ、生活のリズムを規則正しくするための取り組みの充実を図ります。

また、学校・家庭・地域が一体となって、運動・スポーツにふれあう環境づくりの充実を図ります。

平成23年度体力・運動能力調査結果（県平均対比）

小学生

男子	学年	1年生		2年生		3年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（1/10秒）	11.05	11.64	10.39	10.72	9.90	10.19
	立ち幅跳び（cm）	121.28	112.89	131.35	128.53	140.80	134.34
	ソフトボール投（m）	10.07	8.88	13.13	12.61	17.76	16.12

小学生

女子	学年	1年生		2年生		3年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（1/10秒）	11.43	11.64	10.69	11.02	10.25	10.48
	立ち幅跳び（cm）	111.89	107.52	122.65	119.52	132.02	128.23
	ソフトボール投（m）	6.48	5.97	8.48	7.76	10.44	10.12

小学生

男子	学年	4年生		5年生		6年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（1/10秒）	9.43	9.83	9.06	9.29	8.62	9.07
	立ち幅跳び（cm）	150.14	145.22	161.65	159.86	174.83	165.14
	ソフトボール投（m）	21.92	19.32	25.80	23.51	30.80	27.85

小学生

女子	学年	4年生		5年生		6年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（1/10秒）	9.76	10.07	9.33	9.41	8.98	9.04
	立ち幅跳び（cm）	142.24	138.67	154.65	151.04	163.04	159.26
	ソフトボール投（m）	12.78	13.08	15.41	15.24	17.34	17.26

中学生

男子	学年	1年生		2年生		3年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（1/10秒）	8.44	8.36	7.82	7.92	7.41	7.50
	立ち幅跳び（cm）	180.21	184.01	200.86	198.29	215.43	212.31
	ソフトボール投（m）	18.51	19.59	21.56	22.34	24.21	25.58

中学生

女子	学年	1 年生		2 年生		3 年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走 (1/10 秒)	8.90	8.79	8.64	8.73	8.57	8.66
	立ち幅跳び (cm)	166.64	167.52	173.29	168.53	175.75	170.20
	ソフトボール投 (m)	12.10	13.38	13.69	14.56	14.82	15.80

資料：学校教育課

(2) 生涯スポーツの推進

スポーツを通じ生涯にわたって心身ともに豊かな生活の実現を目指し、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツを楽しむことができる環境の整備を図ります。

① 現状と課題

スポーツ活動に対する市民のニーズは多様化しており、今後は、ニーズを反映したスポーツイベント・大会やスポーツ教室をこれまで以上に充実し、スポーツ活動が健康づくりに繋がることも視野に入れて、「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツや運動ができるための環境整備が必要であります。

② 取組の方向性

生涯スポーツ活動への参加を促すため、それぞれの年齢、志向、体力に合った身近で親しめるスポーツ教室やスポーツ・レクリエーション行事の充実をはじめ、スポーツに関する情報の提供を促進します。

③ 具体的な取組

市民がスポーツに親しみ生涯にわたってスポーツを通じて心身の健康とスポーツの楽しさを体験できるスポーツの普及・啓発に努めます。

また、本市の歴史・文化・観光資源を活用したウォーキングコース等の設定、体操やストレッチ、太極拳、ヨガなど気軽に行えるスポーツ教室を開催し、スポーツ活動への参加の拡大を図ります。

(3) 高齢者・障害のある人のスポーツ推進

市関係部署及び関係機関と連携し、健康づくりの観点から高齢者・障害のある人がスポーツ活動などへ気軽に参加できる環境づくりの推進を図ります。

④ 現状と課題

本市の高齢者人口は、平成24年4月1日現在、23,343人であり、高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、28.1%です。

今後、急速に高齢化が進み、平成26年には高齢者人口は25,046人と急増し、高齢化率は、30.7%となる見込みです。

このことから、「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツや運動ができるための環境整備が必要であります。

⑤ 取組の方向性

個人の体力・状況に応じた運動の推進及び高齢者・障害のある人の運動を通じた交流活動の推進を図ります。

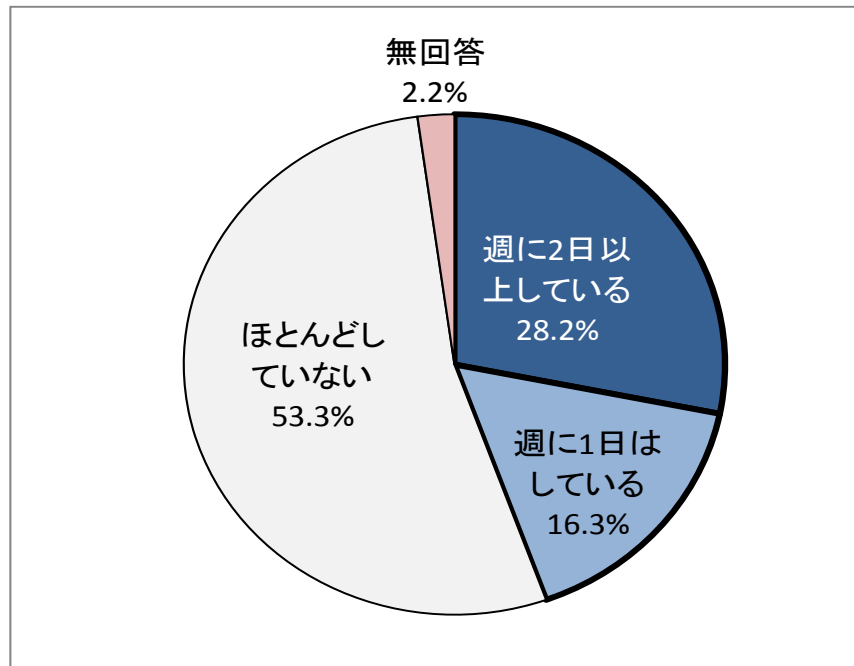
⑥ 具体的な取組

高齢者・障害のある人でも無理なく安心して運動やスポーツ活動を行うことができる環境づくりを進めます。

また、障害者スポーツ指導者については、障害のある人がいつでも、どこでもその特性に応じたスポーツ指導を受けられるよう、指導者講習会や研修会の充実を図り、指導者の養成・確保と地域への定着を図ります。

香取市市民意識調査結果（平成24年6月）

■調査項目：運動していますか。



選択肢	回答数	回答割合
週に2日以上している	412	28.2%
週に1日はしている	239	16.3%
ほとんどしていない	780	53.3%
無回答	32	2.2%
合計	1463	100.0%

資料：企画政策課

※調査対象：香取市内在住の20歳以上（無作為抽出）

(4) スポーツボランティア・指導者の育成

市民がスタッフとして大会やイベントに参加できる体制づくりを進め、スポーツボランティアを育成するとともに、スポーツボランティア登録制度の創設を図ります。

また、公認スポーツ指導者や障害者スポーツ指導者については、指導者講習会や研修会を実施し、指導者の養成を図ります。

① 現状と課題

教育委員会から委嘱されたスポーツ推進委員は、市民のスポーツ活動の支援を担うスポーツボランティアとして活動しています。その活動内容は、市民やスポーツ団体の要請に応じて行うもの、市などの事業に協力するものなどがあります。

今後、市民のスポーツニーズの拡大やスポーツ環境の変化に対応した新しい視点でのスポーツ指導者の充実が課題となっています。

② 取組の方向性

多様化するスポーツニーズに対応し、対象者のレベルに応じた理想的な指導が行われるよう、各種スポーツ団体などと連携して、高い指導技術や幅広い知識、実技技能を有するスポーツ指導者の育成・確保と地域への定着を図ります。

③ 具体的な取組

各種スポーツ団体などに働き掛け、指導者講習会や研修会などの機会を通じて、指導者の支援を行います。

また、スポーツボランティア登録制度を構築するとともに、その活用を図れるよう幅広く制度の周知を図ります。

(5) スポーツ団体の支援

香取市体育協会、香取市スポーツ少年団などによるスポーツ活動の活性化を図るため、各種団体への支援を行います。

① 現状と課題

香取市体育協会については、合併前の旧市町単位で支部を組織しており、実際の活動は、その支部単位で活動しております。

今後、事業の一本化や事務業務の自主運営等を促すべく調整が必要であります。

② 取組の方向性

各団体の自主自立と組織強化が図られるよう支援を行います。

③ 具体的な取組

各団体の自主自立と組織強化が図られるよう支援するとともに、必要に応じて助言を行い、関係諸団体間の連携や行政との協働にあたり、その調整を図ります。

(6) スポーツ施設の整備充実

生涯スポーツの推進を図り、市民が「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめるよう、スポーツ施設の整備充実に取り組みます。

① 現状と課題

本市のスポーツ施設は、香取市民体育館や小見川スポーツ・コミュニティセンターなど19の施設があり、広く市民に身近なスポーツ施設として利用されています。

しかしながら、施設のほとんどは、老朽化が進んでおり、また、高齢者・障害のある人が利用しやすい施設環境の整備など、年々、多様化・高度化するスポーツ・レクリエーションニーズへの対応が必要となっています。

② 取組の方向性

このような状況を踏まえ、利用者の安全性の確保や利便性の向上を図るため、施設の計画的な改修・整備を行うとともに、スポーツに関するさまざまな情報の積極的な発信等、各施設が効果的にリンクした活用方法を検討します。

③ 具体的な取組

既存施設の有効活用を図り、計画的・効率的な施設の整備・運営を行うとともに、社会情勢や市民ニーズの変化等を踏まえ、多様化するスポーツ、レクリエーションニーズへ対応するため、総合的なスポーツ施設「総合運動公園」についての検討を進めます。

また、高齢者・障害のある人等、誰もが利用しやすい施設を目指し、施設のバリアフリー化をはじめ案内や表示の工夫など、人にやさしい施設づくりに取り組みます。





(7) 水上スポーツ等の推進

地域の特性を活かした水上スポーツ及び香取小江戸マラソン大会などの特色あるスポーツを全国に情報発信し、市の活性化を図ります。

① 現状と課題

水上スポーツについては、毎年7月に黒部川で開催しております「香取市民レガッタ大会」をはじめ、カヌー、ボート、水上スキーなどの大会が年間を通じて行われております。

また、「香取小江戸マラソン大会」については、古い町並みを走るコースや地元の温かい対応など魅力ある大会として全国のランナーに人気があり、昨年度は4千人を超える参加があり、マラソン大会として知名度が徐々に定着しつつある大会です。

このような現状を踏まえ、より安全で魅力的な大会を目指します。



【香取市民レガッタ大会】



【香取小江戸マラソン大会】

② 取組の方向性

「香取市民レガッタ大会」及び「香取小江戸マラソン大会」の2大会を核にして、香取の魅力を全国に情報発信し、様々な経済効果及び地域の活性化を図っていきます。

③ 具体的な取組

地域の特性を活かした「香取市民レガッタ大会」・「香取小江戸マラソン大会」の特色あるスポーツを全国に情報発信し、地域の活性化を図ります。

なお、「香取市民レガッタ大会」・「香取小江戸マラソン大会」の開催には、ボランティアの協力が必要なことから、市民の「みるスポーツ」・「するスポーツ」・「ささえるスポーツ」のそれぞれの機会を提供するスポーツイベントとして、今後の在り方を検討してまいります。

基本方針2 総合型地域スポーツクラブの育成

市民主体のスポーツ活動を推進するため、総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成

地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの設立を促進し、その育成を図ります。

① 現状と課題

平成20年5月に、本市では初となる総合型地域スポーツクラブ「ふれあいスポーツ佐原」が設立され、生涯にわたり誰もが、自分自身のライフスタイルに合わせて継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを目指して、地域住民が自主的に取り組んでいます。

スポーツ種目は、ソフトバレー、フォークダンス(2団体)、ミニテニス、ショートテニス、卓球(6団体)、柔道、体操を実施しており、約210名の会員が、スポーツを通じて気持ちの良い汗を流しています。

スポーツの行事やイベントなどで求める内容は、それぞれのライフステージに応じて異なることから、誰もが気軽に、楽しく、様々なスポーツに親しめる機会を提供している総合型地域スポーツクラブの創設を促進するとともに、既存のクラブを育成・支援し、地域の中に、新たなスポーツ文化を構築していく必要があります。

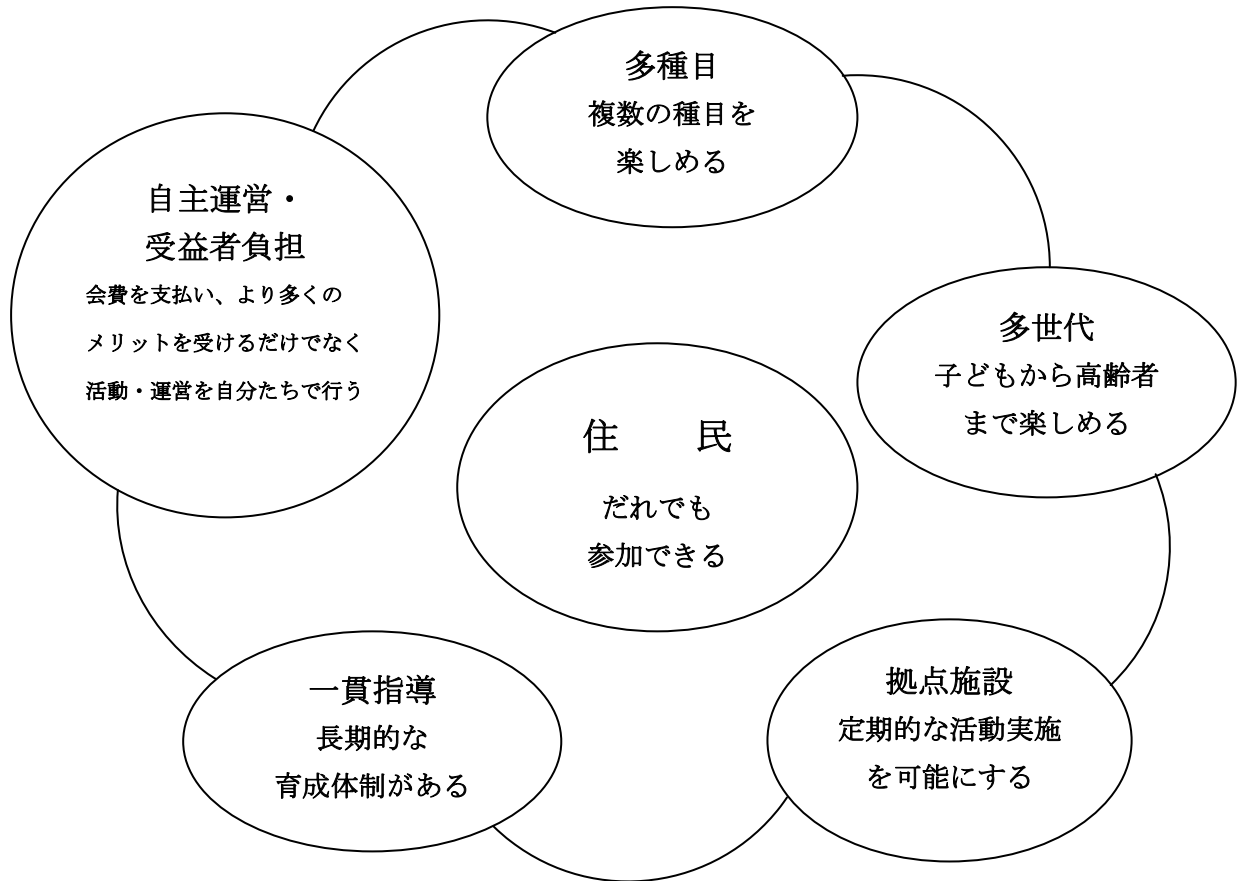
② 取組の方向性

だれもが、いつでも、いつまでも、気軽にスポーツに取り組むことができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。

③ 具体的な取組

クラブの円滑な運営に必要な熱意と知識・技術を有する人材の育成・確保のために、研修会等の情報を提供し、クラブの活動拠点となる施設を所管する部署等へクラブの理解を促し、それらとクラブの連携を図ります。

総合型地域スポーツクラブのイメージ



基本方針 3 競技スポーツの推進

競技スポーツの推進を図るため、市民、特に子どもたちがスポーツへの憧れを抱いたり、スポーツの生み出す大きな感動・興奮を感じたりする機会の充実を図ります。

(1) トップアスリートによる講演会等の開催

トップアスリート（国体優勝者等）によるレベルの高い講演会及びスポーツ教室等を開催します。

① 現状と課題

本市において、国民体育大会及び国際大会でボート、カヌー、馬術等で優秀な成績を収めた選手が数多くおります。

これらのトップアスリートは本市にとって貴重なスポーツ資源ではありますが、直接的に子どもたちとふれあいスポーツの楽しさ・醍醐味を伝える活動の場が少ない状況にあります。

② 取組の方向性

子どもたちにスポーツの生み出す大きな感動を与えられるような機会の充実を図ります。

③ 具体的な取組

学校等に出向き、トップアスリートによる講演会・スポーツ教室等を開催し、子どもたちとふれあいの場を図ります。

(2) スポーツ優秀選手への表彰・報奨制度・派遣費の充実

スポーツ優秀選手に対する表彰制度、報奨制度、派遣費の整備を図ります。

① 現状と課題

本市では、平成23年度において、・第66回国民体育大会 馬術 少年男子 トップスコア 優勝 ・カヌー K-2 200m 優勝 ・全日本中学校選手権大会 ボート 男子ダブルスカル 優勝 ・アジアジュニアスプリント選手権大会 (イラン) カヌー K-1 1000m 3位、5位、 ・アジアカヌースプリント選手権大会 (イラン、テヘラン) カヌー 1000m 4位 ・B&G 杯全国少年少女カヌー大会 女子4年生以下普及艇の部優勝と好成績を収めた優秀選手が数多くおります。

競技スポーツを奨励するため、トップアスリートの育成を支援するとともに、競技者がスポーツ活動に邁進できるような環境整備が必要であります。

② 取組の方向性

スポーツの推進を図るため、スポーツ優秀選手に対する表彰制度及び報奨制度等の整備を進め、トップアスリートによる講演会やスポーツ教室を開催します。

③ 具体的な取組

競技スポーツの推進を図るため、優秀選手への表彰・報奨制度、派遣費の提供などの充実を図ります。

